

## 国立公園における協働型管理運営の推進について

各地方環境事務所長等宛 自然環境局長通知  
平成 26 年 7 月 7 日 環自国発第 1407073 号  
改正 令和 4 年 4 月 1 日 環自国発第 22040114 号

国立公園の管理においては、近年、外来種や野生鳥獣による被害等の新たな課題への能動的な対応、利用者ニーズの変化を踏まえ、地域振興に配慮した適切な利用の推進及び地域の観光や土地利用に関する計画・施策との整合性の確保が求められている。これらの課題等への長期的かつ戦略的な取組の推進について助言を得るため、平成 23 年度より有識者から成る「国立公園における協働型運営体制のあり方検討会（座長：東京大学下村教授）」を設置し、「国立公園における協働型管理運営を進めるための提言」（平成 26 年 3 月 20 日）がとりまとめられた。当該提言を受け、国立公園においては、下記のとおり地域の関係者との協働による管理運営を推進していくこととしたので通知する。

### 記

- 1 地域の関係者との協働による管理運営\*の取組を進めるに当たっては、次の事項に留意し、順次可能な地域から取組を進めること。
  - ・各国立公園の全体又は地理的・社会的若しくは利用上まとまりを持った一定の地域において、国立公園の価値や保全・利用の目標を示したビジョン、そのビジョンを実現するための管理運営の方針及び自然環境の保全や適正な利用の推進に係る地域ルール\*\*について、環境省及び地域の関係者が共有する。
  - ・これらのビジョン、管理運営方針等に基づき、自然環境の保全、利用施設の整備及び維持管理、利用者サービスの提供等の地域の関係者が分担して実施すべき具体的な取組内容及び役割分担について整理した行動計画又はその役割の全部若しくは一部を代替する世界自然遺産地域管理計画、国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラムその他の計画（以下「行動計画等」という。）を作成する。
- 2 協働型管理運営の推進に係る体制については、国立公園における保護の課題や提供すべきサービス等について総合的に検討し、上記 1 の国立公園におけるビジョン、管理運営方針、行動計画等及び地域ルールの協議やその実現に向けた取組の進捗管理等を行うことを目的として広範な関係者が参画する協議会（総合型協議会）又は世界自然遺産地域における地域連絡会議若しくは国立公園満喫プロジェクトに係る地域協議会その他の協議会（以下「総合型協議会等」という。）を設置すること。

また、環境省を含む総合型協議会等の構成員は、国立公園のビジョン等の当該協議会

における協議事項に最大限配慮しつつ、行動計画等に沿った取組を進めていくための計画づくり（自然公園法に基づく自然体験活動促進計画及び利用拠点整備改善計画等）や具体的な施策を実施していく。

3 総合型協議会等における協議を経た事項については、公園計画及び地方環境事務所長が作成する国立公園管理運営計画に次のとおり反映させ、その整合性及び実現性を担保する。

- ・総合型協議会等で協議された国立公園のビジョン及び管理運営方針については、公園計画の基本方針に反映させる。
- ・総合型協議会等で協議された行動計画等及び地域ルールについては、国立公園管理運営計画の一部として反映させる（世界自然遺産地域管理計画、国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム等の計画が国立公園管理運営計画の一部の役割を代替している場合を除く。）。

\* 「地域の関係者との協働による管理運営」とは、関係者が国立公園の望ましい保全・利用の目標（ビジョン）当該国立公園の管理運営の在り方等を共有し、その共通認識に基づき、各関係者が主体的に国立公園の管理運営に資する取組を実施することをいう。

\* \* 「地域ルール」とは、国立公園の全部又は一部の地域において、自然環境や利用状況を踏まえて定める地域特有の自然環境保全及び適正利用の推進のための自主的なルールや遵守事項をいう。

以 上